

リクガメと 楽しく暮らすために!

△ 転倒注意

リクガメは何かの拍子で転倒すると起きあがれないことがあります。



目

水棲ガメより、色の識別や視力は高いといわれています。

鼻

顔の先端にあり、行動の大部分を視覚と嗅覚に頼っています。

口

くちばしがあり、歯はありません。よく噛むことができず、舌で食べ物を口の奥へ運びます。

耳

聴力はあまりよくありません。

甲羅

硬い甲羅で身を守ります。甲羅は骨と一体化しています。

肢

硬いうろこでおおわれています。



主な種類

ヘルマンリクガメ



甲長は約20cm前後、小型で丈夫です。

ギリシャリクガメ



ギリシャモザイクのような模様がある人気種です。

ヒョウモンリクガメ



豹柄が特長です。成長すると甲長が約40~70cmになります。

ロシアリクガメ



ホルスフィールドリクガメ、ヨツユビリクガメとも呼ばれます。

アカアシガメ



四肢と頭部にオレンジや赤色の斑点があります。上から見るとひょうたん型です。

ケヅメリクガメ



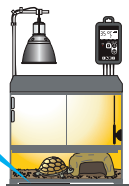
甲長が最大約70cmになる大型の種類です。

●他にもバンケーリクガメ、セオレガメなど多くの種類がいます。

こんな場合は…

呼吸音が
おかしい

肺炎の恐れもあるので、ケージ内の温度を確認してください。温度が低いようなら、設定温度をあげる、W数の高いランプに変更する、パネルヒーターの位置を確認するなどしてケージ内全体を暖めてください。



※パネライプヒーターは白熱球の設置側に設置してください。

甲羅が
やわらかい

こんな症状の他、少しでもおかしいと感じたら爬虫類を診てくれる動物病院へ連れて行きましょう。早目に連れて行くことで症状も早く回復します。1日でも長く一緒に暮らせるように、毎日、変わった所はないかしっかりチェックしましょう。

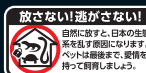
口のあたりが
おかしい

気張っているのに
排泄物がでない

ベツは最後まで責任を持って飼育しましょう。

生き物を触った後は必ず手を洗いましょう。

EXO TERRA専用ホームページ
www.gex-fp.co.jp/exoterra 充実の動画コンテンツ!



放さない! 逃さない!
自然に放すと、日本の生態系を乱す原因になります。ベツは最後まで責任を持って飼育しましょう。



このやさしさを人と社会へ
ジェックス株式会社



リクガメの 飼い方



Tortoise

リクガメとは

世界各地の熱帯から温帯地域に広く分布しています。歴史も古く、最古のカメは約2億年前から生息しています。ほとんどの種類が甲長(甲羅の長さ)20cm以上(ケヅメリクガメで最大約70cm)になるので、広いスペースが必要になります。とても長生きで、上手に飼えば30~50年は生きます。

分布: アフリカ大陸、ヨーロッパ、アジア、北米、中南米など



リクガメの飼い方

えさ・飲み水

基本的に草食性です。いろいろな野菜や野草をバランスよく組み合わせて与えてください。リクガメ専用フードは栄養バランスを考えて作られているので便利です。
人工フード以外を与える場合や栄養のかたよりの回避、骨・甲羅の形成のためにもビタミン類やカルシウム等のミネラル類は必要です

野菜

ニンジン、キャベツ、トマト、キュウリ、カボチャ、チンゲンサイ、コマツナなど。

野草

オオバコ、タンポポ、アザミ、ハコベ、クズなど

果物

バナナ、リンゴなど



えさ皿・水飲み皿

食べやすく、ひっくり返しにくい安定した皿がオススメです。水飲み皿は体が入れるような大きさがベターです。食べ残しがある時は、すぐに処分してください。皿は、毎日洗って清潔にしてあげてください。水も毎日交換して、キレイな水を常に用意してあげてください。



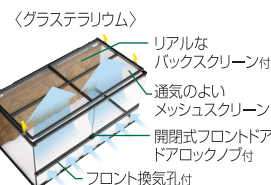
お手入れ用品

日々のメンテナンス時に、ガラステラリウムのガラス面やアクセサリの汚れをサッとふき取ることで、きれいな状態をキープできます。フン・活き餌など気になるニオイを分解して消臭する消臭剤も使用して快適な環境に。爬虫類専用なので安心です。



ケージ

お手入れ、お世話がしやすい、フロントドア・ガラス製のケージが便利です。リクガメは大きくなるので、初めから大きめのケージを用意してあげてください。甲長の約4〜5倍の大きさがが必要です。



床材

掃除しやすく、フンも見えやすいものがおすすです。フンなどの排泄物は毎日取り除き、キレイに保ってあげましょう。また、定期的に床材は交換しましょう。



アクセサリ・シェルター

リクガメが隠れることのできるシェルター（甲羅がすっぽり入るサイズ）を用意してあげてください。クールダウンや紫外線回避、ストレス回避のためにも隠れたり、落ち着ける場所を作ってあげてください。



水で練って造形できる砂。地面の起伏や壁面が造れます。



デラメイカー デザート

有効紫外線

自然界では日光浴をすることによって紫外線（UVB）を浴びてビタミンD3を合成して骨格を形成しています。飼育下でも紫外線（UVB）が照射できる蛍光灯を設置し、1日12時間は紫外線（UVB）を浴びられる環境を作ってあげましょう。暖かい日は、庭やベランダなどに出て、自然光での日光浴をさせてあげてください。外敵に襲われたり脱走しない場所で行なってください。

紫外線ランプ照射器具：コンパクトトップ
紫外線ランプ：ナチュラルライトとレプタイルUVB100もしくは、UVB150の併用がオススメ
※飼育種によって異なります。



コンパクトトップ



ナチュラルライト

レプタイルUVB

ライティング

自然光に近い光を設置することでリクガメの成長、活動環境を整えます。リクガメにはケージ内の空気全体を暖めてあげることが大切です。バスキングスポットを作るためにもランプは必要です。熱源となるランプ器具は、ケージの上部もしくは内部上辺に設置してください。生体に近すぎると目に悪影響を与えたり、火傷の可能性があるので注意してください。

照射器具：
ライトドーム（ライトスタンド）
ランプ：
昼間はソーラークローUV・サンクロー、
夜間はヒートグローがオススメです



ライトドーム+ライトスタンド



ソーラークローUV



サンクロータイトビームバスキングスポットランプ



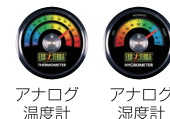
サンクローバスキングスポットランプ



ヒートグロー

温度・湿度計

リクガメに快適な環境が作れているか定期的にチェックが必要です。



アナログ温度計

アナログ湿度計

設定温度・湿度

日中 32〜36℃を目安に
夜間 26〜28℃を目安に
湿度 飼育種によって異なります。飼育種によって調節してください。

温度は種類によって違います。飼育しているリクガメによって調節してください。
ケージ内全体が暑くなりすぎないように温度が低い場所を作ってあげてください。



デジタル温湿度計 ※メモリー機能付

ヒーター

パネルタイプのヒーターをケージの底に設置してください。ケージの1/3〜1/2サイズの物を用意し、その上にシェルターを設置してください。タイマーサーモを使用すれば、昼夜の2段階温度管理ができて便利です。



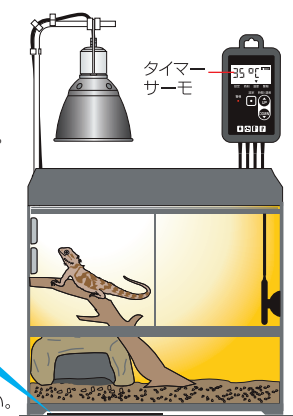
ヒーティングトップ



上部から暖められるヒーティングトップを使用するとケージ内をさらに効率よく暖められます。



※パネルタイプヒーターは白熱球の設置側に設置してください。



タイマーサーモ